

スクラム

令和2年 6月号



学校再開！！気持ちを新たに、みんなで心をついに！！

6月1日（月）から学校が再開しました。先月末に行われた分散登校中に、子供たちから「早く〇〇さんに会いたいな」「みんなで遊びたいな」と声が聞こえました。学校が再開し、子供たちはこれまでに会えなかった友達の所に真っ先に飛んでいき、楽しそうに話をしたり、一緒に遊んだりしていました。また、授業でも友達の話真剣に聞く姿や、「これってこういうこと？」と、友達と関わり合う楽しさを満喫しているように感じました。

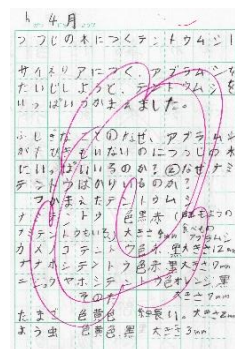
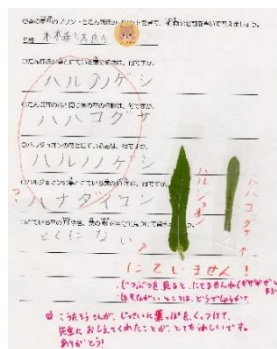
臨時休業中は、プリントを中心とした学習になり、保護者の皆様に、たくさん力を貸していただきありがとうございました。家庭学習で身に付けたことを生かしながら、学校でしっかりと身に付けるようにしていきたいと思います。

☆自分で考えて、動いて☆

臨時休業中の課題に「春の生き物」のプリントがありました。回収した課題を見ると、提示した課題以上に疑問に思ったことを調べてくる子供がいて驚きました。

植物の葉を見分ける問題に対し、実際に自分で植物を探しに行つて確認した子供は、形が似ている葉であるという解答例に対し、実物を貼って、「にいていません」と書いてきました。自分の目で確かめたことをもとに、自分の考えをしっかりとって主張することは、これからの時代に必要な力だと思います。

飼っている昆虫を観察し、疑問に思ったことを調べて、プラス1ノートに書いている子供もいました。「プラス1」は、「なぜその学習をしようと思ったのか理由をもって」自分で学習することを決め、自分で行う力を付ける取組です。3年生の子供たちがもつ、主体性に学ぼうとするよさをたくさん見付けて支援していきたいと思ひます。



☆子どもの目から☆

算数の学習の前に面白い会話がありました。

Dさん：「ぼくの家は、給付金を〇円もらえるよ。」

Tさん：「なんでそんなにもらえるん？」

Dさん：「ぼくの家は、〇人家族だからね。」

Tさん：「だからか～。ぼくの家は、〇人家族だから、〇円しかもらえないんだよ。」

I さん：「えっ、そうなんだ。」

Hさん：「人数に合わせて、もらえるお金が違うもんね。」

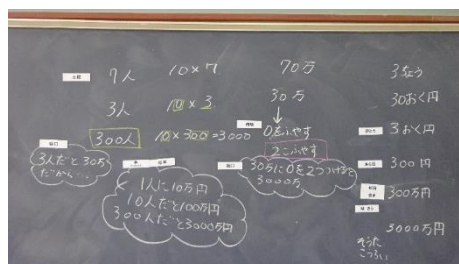
Tさん：「だったら、300人家族ならいくらもらえるのかな。」

子供たちの何気ない会話から疑問が生まれました。

子供たちが興味を示し、「3百円だと思う」「いや、3百万円だよ」「ぼくは、3億円」

「いやいや3兆円だよ」と、口々に数を言い出しました。その内、0がいくつ増えるかに注目する子供が出てきました。一人の疑問が、自分の疑問になり、みんなで考え合う時間を子供たち自身が作っていました。

学校が再開してすぐに、仲間と一緒に考える楽しさを子供たちに教えてもらえました。学校は、やっぱりいいですね！！



☆お願い☆

学校が再開したので、ハウセンカの観察を学校で行いたいと思います。そこで、ご家庭で育てているハウセンカの鉢を6月10日（水）までに学校に持ってきていただきたいと思います。児童玄関前に置く場所を決めておきます。よろしくお願いします。

